

網走ほんりゅう組

第445号
網走教職員組合
〒090-0052
北海道北見市北進町4丁目5-31
TEL0157(31)7551
FAX 0157(31)7559
ab-ky@forest.ocn.ne.jp
9月5日

本質を見極め、しなやかに実践を

八月一九日に北見市民会館五号室で、前田賢次先生を講師に新学習指導要領の講演会を行いました。参加者は、組合員九名、高教組三名、退教一名、NPO関係者二名、未組二名、名簿未記入者一名の一七名でした。

学習指導要領の内容から地域実践まで、私たちが目指していきたい教育の方向性について話をしたいだけ、一人一人が元気をもらった講演となりました。網走教組の組合員だけでなく多くの参加者があったことが良かったです。感想を集めたので、紹介します。

この夏休み、教員免許更新講習でも新学習指導要領やアクティブラーニング、コミュニケーションスキルなどについて、たくさん話を聞きました。今回のような話は聞きなかつたので、危うく洗脳される所だったので、様々な角度からの話を聞いて、自分で考えて自分で判断することがきちんとできないとダメだなと感じました。ただ、大学の先生も、「今までやってきているのだから身構えることはない。」と言っていたので、これからもしっかりと実践を積み上げていこうと思いました。

【網走教組 若狭美喜子】

新学習指導要領は全否定ではなく、批判すべきことはしっかりと批判しつつ、うまくやれるところは上手に活用して実のあるものにしたかと思えました。以前からやっていたことのネーミングだけつければよかったような所もあるので本質をしっかりと見極めて形式論に陥らないようにしたいと感じました。

【網走教組 上田健一郎】

これから始まる学習指導要領について、まだ学校では話し合われていませんが、今回学んだことを少しでも学校で生かしていきたいと思いました。

【網走教組 佐野純子】

新しい学習指導要領をうまく自分たちの現場で解釈して実践していくことが重要かもしれない。道教委や局のフィルターを通してどう原点到立つ。

【高教組 河口広行】

学習指導要領についての学習会というものでしたが、地域や教育そのものに対する考え方を問う学習会だったと思います。私も問い

かけられることで、日常の指導や地域に対する考えや行動、実践を考えさせられました。

【高教組 河野晃】

「公民的資質とは何か」の唐木先生の教え子です。ゼミで江口武正、久津見宣子、鈴木正氣実践などを読み漁ったことを思い出しました。楽しく学べました。ありがとうございます。

一・興味深かったこと

・学習指導要領の変遷を民教の実践と結びつけて考える手法考えさせられたこと

・民教の実践はなぜ以前のように活発でなくなったか。

↓組合の衰退やマルクス主義的な社会認識論が嫌われたことが原因?

・民教の実践から今後受け継いでいく必要のある財産とは何か

↓社会認識の内容ではなく、生活綴方から教科研が受け継いだ「概念くだけ」の手法ではないかと思えます。

【高教組 山崎辰也】

「発達段階を無視した早期教育」、私もまさしくと思っています。「生活経験」が基礎から↓動的教育。なかなか言語化できていなかったので学べました。

【常呂川自然学校 羽根石晃彦】

学習指導要領は時代に即しているのか?今後も勉強したいと思いましたが(地域差はどうなっているのか)。

【常呂川自然学校 川富賢治】

ゆきとどいた教育をすすめる「教育全国署名」の網走教組スタート集会が九月二日に本部会館で行われました。各支部からの意気込みとこれからの署名の予定を交流し、今年度の目標を確認しました。目標数に迫ることももちろん大事ですが、この署名活動を通して支部の運動が活発に進んでいくことを期待しています。

今年度の網走教組の目標数は昨年と同じ一〇〇〇筆です!

子ども達の教育環境整備のために、また、実りある私たちの運動のために今年も奮闘しましょう!

